



6月議会のご報告をお届けします 17日4項目の質問をしました

30人以下学級の実施について

文部科学省の中央教育審議会が、学級編成基準(40人)を改善する考えで一致した。

市内では、今年1クラス31人以上の学級が小学校で36.6%、中学校で57.1%。36人以上の学級は小学校で15.3%、中学校で11.1%という調査結果。

大島小4年生1クラス40名。中央小学校1年生4クラス中1クラスが40名、他の3クラスは39名。大井小学校2年でも同様なクラスがある。

文部科学省は、教科などに応じた20人程度の「少人数指導」などを推進してきた。調査によると学習面では少人数学級と少人数指導の評価はほとんど変わらないが、大きく違ったのは生活面。「不登校、いじめが減少したとは思わない。」と応えた学校が中学校で57%、小学校で36%に上る。少人数指導では、「教師間の打ち合わせや教材準備の時間が確保できない」と応えた学校が70%。



金浦小24名のクラス

「30人以下学級が実現すれば、どの学校でもこうなります。」

80%が「学級編成の人数を引き下げたほうが効果的」と応えている。「30人以下学級の実施」に踏み切る時期ではないかと、教育長の考えと展望を質問。

これに対し教育長は「少人数学級の大切さは認識している。30人以下学級の実現を強く望んでいる。しかし笠岡では国や県の方針に従い、少人数指導などで対応したい。」と答弁。

私は引き続き、子供達の健やかな成長を願って、一人一人に目が行き届く30人以下学級の実現を目指して頑張ります。

笠岡湾干拓残土搬入問題について

先の3月議会で私は、残土搬入問題に関して市の示した「農用地の汚染対策基準」が田んぼに適用されるものであり、又「土壌汚染対策基準」は構造物を撤去した跡地に適用される基準であることを明らかにした。従ってその基準をもって安全であり、残土の撤去の必要なしという行政の判断が的確でないことを示し、環境汚染防止の観点からも残土の撤去を強く求めた。しかしその答弁は、「安全であり、法律上問題はない。残土搬入目的に沿って指導していく。」と言うもの。

条例が制定され、4月より効力を発揮しているが「市役所に来るたび言うことが違う。何を考えているのかわからん」と嘆く市の職員。条例で定められている書類の提出の期限も守らないなど、6月までの経過措置期間も

(3)業者はきちんと対応しているとは言えない。行政は指導性を持って望むべき、又安全性についてもバイオアッセイなど微生物による検査も行なうべきとたずねた。

これに対し市長は「業者は農家コードを取得し、農業を営む姿勢を示している。今後も営農指導をしていく。残土は安全であり、周辺の水質調査を行なっていく。」と答弁。

私は笠岡湾干拓の目的に沿った、安全で豊かな営農を保障するためにも、残土の撤去か、住民が納得する環境汚染防止対策しかない

昨年の台風16号などを教訓とした 防災対策について

高島を初めとして、市内で災害を受けた地域8箇所を、県から調査の委託を受けた業者に実態の再調査をお願いした。事前に地域の人に作成して頂いた浸水実態図と、委託業者の調査結果には食い違いがあった。

改めて地域の人たちの声を聞いて頂いた。浸水の深さの違いを始め、「排水機の配電盤が水につき、ポンプが作動せず、半日も水が引かなかった」という西本町の声もそのひとつ。又5月17日の陸地部最初の災害調査で、西本町西地区の浸水の深さが人の首まであったことを初めて知ったという市の幹部職員の声もあった。

各地域の共通の声は、吉田川、隅田川を含む

学校教育におけるスポーツ振興について

私は、おかやま山陽高校を退職して6年目になるが、勤務当時「笠岡の中学校にはバスケ部がなかったから高校でバスケ部に入るものが多い」と生徒に聞いたことがある。

笠岡は、国体女子バスケ会場となるのに中学校で部があるのは東中だけ。他の中学校では練習場の問題などの理由で取り組まれていないとのこと。又立派な陸上競技場が建設されたのに、日常的に陸上競技に親しむ陸上部があるのは西中だけ。

国体の会場、競技場の建設などスポーツの振興を図る契機になる。学校と相談し、部の発足を考え、その振興を図るべきではないかと質問。



「夢とロマンのおふれる干拓。汚染残土とは無念を感ず」と考えています。今後も住民の皆さんの声に耳を傾け、共に頑張りたいと思います。



市長の「防災連絡会をつくります。」との約束に「えー今どう?そなたの、やろうと思えばとくにできとる。」

沿岸部の堤防の低さと、排水溝からの海水の逆流との声。再度地域の人たちが多数参加できる機会をつくり、一連の災害での声を聞く機会を持ち、十分な声のもとで、防災対策を確立すべきと質問しました。

これに対し市長は「巡回市長室を開き住民の声を十分に聞く。年次的に護岸のかさ上げを行い、応急措置は土のうをついて。又排水溝の出口には逆止弁をつけ、排水機の配電盤は水に浸からないよう引き上げたい。」と答弁。

私は今後も行政に、地域の人たちの声を十分に聞いて調査し、命と安全を守るといふ地方自治体の使命を果たすよう働きかけたいと思います。

これに対し教育長は「国体開催など契機にしたスポーツ振興は大切と考えるが、社会体育、学校体育の中で取り組んでいる。」と答弁。

私は引き続き、学校教育における部活動についても、その振興に努力したいと考えています。

あしあと

- 4/3 笠岡さくら祭
- 4/4 組合立小北中学校議会
- 4/6 県委託の高潮調査コンサルと懇談 (西の浜・伏越)
- 4/8 広報公聴委員会
- 4/10 城山稲荷神社450年祭式典



四五の年の暮
身体にひしひしと
感じる...

- 4/11 生き生きサロンで花見・輪投げを楽しむ
- 4/12 津山鶴山公園でミニ同窓会
- 4/14 西の浜排水機場調査
- 4/17 国体民拍連絡会総会
- 4/23 菜の花フェスティバル
- 4/29 ときわ学園のみなさんと
どらやきづくり
- 5/1 メーデー
- 5/4 飛島訪問
- 5/9 生き生きサロン
- 5/10 北木島訪問

- 5/13 笠岡「9条の会」立ち上げ準備会
- 5/15 「にこにこ児童クラブ」総会
- 5/15 敷島神社手洗舎落成式
- 5/15 ふれあい芸能祭
- 5/16 社会保障充実を求めて、
協議会と共に市と話し合い
- 5/17 真鍋島、白石島、高島訪問
- 5/22 島の運動会



身も心も
清めらいます。

砂で、足が
ふんばれません。
イキを合わせて
ヨーイ、ン、ン、ン

- 5/23 西の浜、住吉、西本町地区の台風16号
による浸水実態調査(5/17)を受けた市
との懇談に出席
- 5/24 国体総会
- 5/29 島弁ツアー参加。
- 5/28 金浦小学校体育祭
六島で子育て中のお母さんと懇談。
- 5/30 離島特別委員会
- 6/1 笠岡湾干拓に搬入された残土に関し、
安全性の問題で、専門家と懇談。
- 6/2 更生保護女性の会あいさつ運動
(金浦中学校)
- 6/2 組合立小北中学校議会
- 6/5 「ひったかおしぐらんご頑張れバザー」
- 6/9 投票に基づき、神島の福浦一高地区間
もと県道の調査と整備の申し入れ。
- 6/9 ひったか集会(金浦小学校)
- 6/11 ひったか 6/12 おしぐらんご



「歴史絵巻の再現
瀬平合戦」

- 6/12 西の浜西地区巡回市長
室に参加。
- 6/13 生き生きサロン
- 6/18 横島地区巡回市長室
- 6/19 NLP(夜間飛行訓練)岩
国移転反対集会に参加



眠れぬ夜をつくらせてはなりません。
集会のなかにも ごう音が...

- 6/21 住吉地区巡回市長室に出席
- 6/22 環境常任委員会
- 6/24 生江浜の国道下水路の沈下を現地調査
- 6/25 生江浜地区民泊協力会総会
- 6/26 金浦公民館「わらじづくり」に
孫と共に参加
- 6/28 老人ホーム一部事務組合議会
- 6/29 組合立小北中学校議会

☆ お世話になりました ☆

- ☆ 白石島海水浴場市道側溝の砂除去
- ☆ 生江浜市道段差解消
- ☆ 吉浜東水門に続く、みお筋の浚渫
- ☆ 旭が丘中央市道の路面舗装
- ☆ 金浦幼稚園トタン屋根補修
- ☆ 富岡国道南雇用促進横
市道路面補修
- ☆ 吉浜東水門市道路面補修
- ☆ 金浦墓原前護岸のかさ上げ



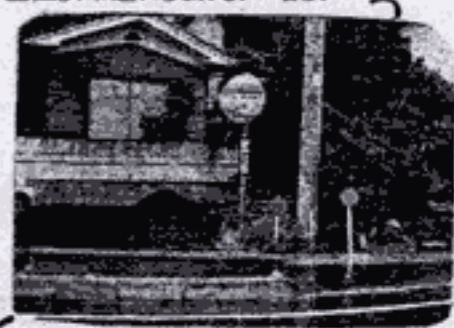
昨年3度も床上浸水。
ようやく護岸が、かさ上げされました。

- ☆ 同 フラップ弁のとりつけ
- ☆ 生江浜大津川転落防止柵増設
- ☆ おしぐらんご棧橋の改修

投票・電話などで助まこれ、
福さんの声の実現に向けて、がんば
りました。
エ事をして頂いた関係者
のみなさん、大変お世話に
なりました。
ありがとうございます。



- ☆ 金浦小学校のプールの一部修繕
- ☆ 生江浜市道に反射板の増設



アグリスポーツ公園
の完成で、夜間通る
事が心えました。

- ☆ コムプラザ北、旧富岡市道路面補修



雨の日は水まみり、自転車
のタイヤもはまってきた。六、七二
なりました。

- ☆ グレーチングの収まり改善(相生)
- ☆ 吉田川護岸のかさ上げ(工事中)
- ☆ 新川地区県道ガードレール利用した
防潮堤(工事中)
- ☆ 金浦鉄南護岸かさ上げ(工事中)
- ☆ 用之江国道2号線沿い歩道の修繕



以前何回も泥急ぞち。
今度はキンから改修?

夫の一言

茂平で訴えの途中、いつも手を振ってくれる青
年、ある日、「わし山高の卒業生だからなー！」の
大声で通り抜ける。曇りも忘れ、元気100倍。
山高OB、みなさんにささえられてがんばってい
ます。

通之津(旧姓林)周明